

埼玉西武ライオンズOBが新明小訪問

12月15日(木)、新明小学校3年生の体育の授業で、埼玉西武ライオンズOBの吉見さん、宮田さんから野球を教えていただきました。投打の基本を習い、授業の最後にはゲームをして楽しみました。



夢 with Science



12月20日(火)、市民文化センターで市内の市立中学校2年生を対象にノーベル物理学賞受賞梶田隆章基金事業「夢 with Science」を開催しました。梶田先生から、生い立ちや研究の道に進む決断をした時の話など、さまざまなお話をいただきました。「写真や図を使っての説明を聞いて、研究のスケールの大きさに驚きました」と生徒から感想が述べられました。



絵子猫さんが描く 高坂彫刻プロムナード



H. Takata × EGONCO

生涯学習課 ☎21-1431 ☎23-2239
生涯学習課は市の文化芸術活動を推進しています。



高田博厚作「マハトマ・ガンジー」

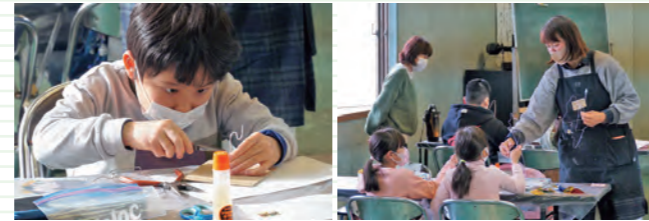
まちかどスケッチ

この広報紙にあなたが写っていましたら広報広聴課へご連絡ください。写真をさしあげます。

クリスマスツリーがゆらゆら動く



12月17日(土)、松山市民活動センターで第3回子ども工作教室「ゆらりんツリーを作ろう!」を開催しました。参加した子どもたちは、講師の中林祐子先生の話聞き、カラーフィルム等でクリスマスツリーを作りました。完成したツリーをライトで照らすと、カラフルな影がゆらめき「とってもきれい」等の声が上がりました。



えんじょいスポーツ

フィギュアスケート



松原茜さん



アイスショー出演時の様子

松山中学校出身で、現在はプロフィギュアスケーターとして活躍している、松原茜さんを紹介します。松原さんは小学校1年生の頃にスケートリンクへ遊びに行ったことがきっかけでフィギュアスケートを始めました。中学校3年生で初めて冬季国体に出場し、大学卒業後の令和3、4年にも2年連続で同大会に出場しています。

その後、選手からプロへと転向すると、現在は日本初のアイスショーである「プリンスアイスワールド」のチームに所属し、国内外を代表するトップス

ケーターと共に東京や横浜で公演するアイスショーに出演しています。

時には落ち込むことがあっても、楽曲に合わせて様々なキャラクターを演じることで自身の気持ちが明るくなれることがフィギュアスケートの魅力であり、これまで続けられた理由と語ってくれました。今後は、プロのフィギュアスケーターとしてまずは10年間継続し、その間に次の目指すべきものを見つけ出すことが目標だそうです。

最後に、未来のフィギュアスケーターへメッセージをいただきました。「がむしゃらに頑張るだけでなく、自身のコンディションをしっかりと整え、フィギュアスケートについての正しい知識を持ちながら努力すれば、きっと実を結ぶときが来ます。頑張ってください。」

松原さん、これからも多くの人々にフィギュアスケートの魅力や感動を伝えていってください。



埼玉県子ども動物自然公園
動物ZOO鑑
～園長おすすめ カメ～
たなかりえこ 田中理恵子園長

もしもしカメよ～♪

先月が「ウサギ」だったので、今月は「カメ」のお話。日本人なら誰もが知っている♪もしもしカメよ～カメさんよ～♪では、のんびり歩くカメが、途中でグー寝てしまったウサギを追い抜いてゴールするという歌詞です。動物園では、この歌を子どもたちと歌いながら実際はどっちが先にゴールするのか、という検証を「ウサカメレース」と称してサマースクールなどでよく行いました。実際はたいてい「カメの勝ち」。なぜなら…ポイントは坂の上からのスタート。歩いてもらうカメはイシガメやクサガメなど水辺に暮らすカメ。たいてい水場は低いところにあるのでそれを知っているカメたちは坂の下に向かってとことこ歩き出すという訳なのです。そしてもう一つのポイントはウサギの用心深さ。知らない場所ではあまり動かず、まずはじっと様子を見るタイプ。動きだすまでに時間がかかり、その間にカメがゴールイン。その理由を子どもたちに話すと、それぞれの暮らしぶりがそこにあることにみなさん「なるほど」と納得してくれます。

ところで、イシガメやクサガメなどは雌が雄よりずっと体が大きいのを御存じですか？雌は体が大きいほうが卵をたくさん産むことができます。雄は繁殖期に雌をもとめて沢山歩きまわるので体が重すぎないほうがいい、ということです。カメは意外とのんびり屋さんじゃないんですよー。

④動物園のイシガメ、クサガメたちは3月まで冬眠中です。

ウサカメレースでスタート!

スタスタ歩くイシガメ

目を立てて周りをうかがうウサギ

人口と世帯(1月1日現在)		交通事故発生件数(12月中)		市内の空間放射線量測定結果	
人口: 90,651人 (-33)	男: 45,600人 (-37)	発生件数: 429件*	人身事故: 51件(死者: 1人、けが人: 60人)	市内34か所で空間放射線量を定期的に測定しています。	1月の測定においても、基準値を下回っています。
女: 45,051人 (+4)	出生(12月中): 27人 (-14)	物損事故: 378件	※東松山警察署管内(東松山市、滑川町、川島町、吉見町)の件数	1月の測定においても、基準値を下回っています。	測定結果の詳細は、市HPに掲載しています。
死亡(12月中): 102人 (+30)	転入等(12月中): 313人 (+0)	火災と救急件数(12月中)	火災件数: 1件	救急件数: 526件(交通: 30, 急病: 350, その他: 146)	搬送人員: 395人
転出等(12月中): 271人 (-37)	世帯数: 42,332世帯 (+4)				
*()は前月比		環境政策課 ☎63-5006 ☎23-7700			